

# NIKA

PAINTING SCULPTURE DESIGN PHOTOGRAPH

## 105 二科展

2021 10月5日(火) - 10日(日)  
愛知県美術館ギャラリー



名古屋・栄・美術館のある愛知芸術文化センター

## 2年ぶりの東海展開催

第105回二科展の巡回展(東海展)が2年ぶりに名古屋・栄 愛知芸術文化センター 8階・愛知県美術館ギャラリーで開催された。

昨年はコロナ禍で中止。地元の二科会関係者にとっては待望の巡回展開催。

毎年、新国立美術館での二科展が開催される時期には、東海展の全容が決定しているが、今回は2年ぶりの開催で少々手順に不安があった、出品者総会も中止、すべての展覧会資材は郵送とし、四部の会員で構成する東海展運営委員会全員で準備を整えた。

10月3日の荷受け、翌4日の出品者全員による展示作業、4日の開幕となった。コロナ禍にあることから、共催各社、協賛社宛て「二科会としてのコロナ対策・感染症対策を万全にすることを通達し、毎回初日に開催していた「オープニングセレモニー」「二科懇親パーティ」や「金曜日の夜間開館」は中止となった。



二科東海の作家たちの作品が来場者を迎える



二科を代表する作品群に圧倒される



彫刻部とデザイン部の作品が呼応するG室



写真部の多彩な作品群と展示点数は見事



彫刻展示室(G室)では、彫刻部・東京展(彫刻)会場の模様をエンドレス上映



会場入り口には検温器を設置



会期は6日間。愛知県美術館ギャラリーのA～G室を会場とし、絵画部総展示点数は191点(内訳: 全国巡回展作品75点、内大作14点、地元会友24点、地元一般79点)、彫刻部は15点。その他デザイン部158点、写真部242点、四部合計606点であった。

また、6日間の総入場者数は4,746人。前回(2019)よりは2,000人ほど減少だが連日活況、途切れることのない入場者の列に会員・関係者一同安堵、無事会期を終えた。

2021年12月 二科東海支部・二科東海展運営委員会